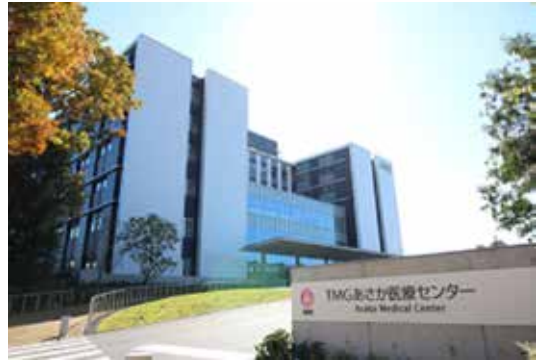




病院の概要



- 病床数 446 床
- 医師数（研修医を除く）73 名（うち指導医数 8 名）
- 研修医数 1 年目 4 名 2 年目 4 名
- 研修医の主な出身大学 東北大学・旭川医科大学・近畿大学・藤田保健衛生大学・岩手医科大学・産業医科大学・獨協医科大学・弘前大学・香川大学・東京医科大学・名古屋市立大学・高知大学・京都府立大学・宮崎大学・北里大学・帝京大学
- 診療科 内科 消化器内科 呼吸器内科 腎臓内科 小児科 小児外科 外科 消化器外科 呼吸器外科 整形外科 皮膚科 泌尿器科 耳鼻咽喉科肛門外科 眼科 循環器内科 脳神経外科 婦人科 麻酔科 形成外科 リハビリテーション科 放射線科 精神科 神経内科 心療内科 救急科 緩和ケア内科 歯科口腔外科 耳鼻咽喉科 皮膚科 泌尿器科 放射線科 麻酔科 歯科口腔外科 リハビリテーション科 病理診断科
- 1 日平均外来患者数 922 名 ● 1 日平均入院患者数 327 名
- 主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、日本内科学会教育関連施設、日本脳神経外科学会指定訓練施設、日本救急医学会専門医指定施設、日本整形外科学会認定施設、日本外科学会専門医制度修練施設 他

研修プログラムの特色

初期研修プログラムでは、総合診療・救急医療・地域医療を基本とし、総合的臨床能力を有する医師の育成を目的としています。内科・救急部門・地域医療を必須、外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科から 2 科目を選択必修としています。最大 12 ヶ月間は自由選択になり、2 年目は将来専門にしたい診療科を中心に研修を組むことも可能です。募集定員は少人数制にすることで、指導医とマンツーマンでの研修を実現しています。初期救急医療からプライマリーケアを主とした研修をベースに問診・初期治療の実際から適切な判断能力を身につけることができます。また、二次救急医療機関として地域医療の一端を担っていますので、全科の研修時に二次救急医療を体験することができます。臨床研修医の皆さんが経験を積むには最良の環境だと思えます。また、平成 30 年 1 月から新築移転し、最新鋭の設備で臨床研修という大事な時期をともに学び喜びを共有しましょう。



プログラム 例 ▶▶▶ 基本コース（募集定員 5 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目 ▶	内科					救急部門			必修選択		地域医療	
2 年目 ▶	自由選択科目											

※自由選択科目は、内科・救急・外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科 整形外科・脳神経外科・泌尿器科・皮膚科より自由に選んで研修。
※選択必修は、外科・麻酔科・産婦人科・精神科の 2 科目選択。

研修医の処遇

- 給 与 ▶▶▶ 1 年目 : 36 万円 / 月 2 年目 : 40 万円 / 月
- 諸 手 当 ▶▶▶ 通勤手当・時間外手当
- 保 険 ▶▶▶ 健康組合保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- 勤 務 時 間 ▶▶▶ 9 時～17 時 30 分（月～金曜日）
- 当 直 ▶▶▶ 希望制 手当 : 1 年目 / 1 万円 2 年目 / 2 万円
- 休 暇 ▶▶▶ 土・日曜日・祝日・年末年始休暇・夏季休暇・介護・育児休暇
- 宿 舎 ▶▶▶ あり（単身用） 住宅補助 : 5 万円・引越代補助 : 20 万円
- そ の 他 ▶▶▶ ・診療見舞金制度（グループ病院受診時、月 3000 円以上超えた分の治療費支給）
・スポーツクラブ、ヘアサロン等の福利厚生制度
・学会参加費 年 2 回分病院負担（交通・宿泊・学会費）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 戸田中央医科グループ
 - ・戸田中央総合病院（小児科）
 - ・戸田中央産院（産婦人科）
 - ・菅野病院（精神科）

当院の魅力

充実した研修環境

昨年度は年間 5,021 件の救急車を受け入れており、手術件数は年間 4,036 件です。地域医療に力を注いでおり埼玉県南西部地域において、非常にアクティブに活動している病院です。特に、内科・外科・整形外科・脳神経外科の 4 科は県内トップレベルの診療実績があります。院内の行事も数多くあり、院内旅行・運動会といった場では、医師・看護師・医療技術部・事務の結びつきが強く、カンファレンスも活発です。

TMGあさか医療センターでは救急・専門医療の拡充として、ICU・CCU 10床・SCUの稼働、てんかんセンターでは患者様を 24 時間モニタリング検査ができ、外科的治療も可能です。手術室も 4 室から 8 室に拡大し、多職種で協力して生命の危機がある患者様を 24 時間体制で対応致します。また、脊椎内視鏡手術センター・最新鋭のアンギオ装置を 2 台設置、20 床個室の緩和ケア病棟・小児病棟といった各部門の強化を図り、幅広い医療を学ぶことが出来ます。新病院では地震の被害を低減する「免震構造」を採用し、被害の影響を受けにくい構造となっています。ホスピタルコリドール内には医療ガス設備を設置し、災害時でも医療を継続することが可能です。最新鋭の設備の中で充実した研修生活を共に過ごしてみませんか。



研修責任者から

message

当院では情熱を持った研修医に、できる限り希望がかなう研修が行えるようプログラム作成を考えています。「医療の主体は医師でなく、患者さんであり、医師免許とは医師個人が取得した特権ではなく、患者さんのために精一杯働くという契約の中で行う医療行為を許可された免許」を研修の中で自覚して取り組んで欲しいです。先端の医療は、患者さんが中心で医師・看護師・医療技術部・事務職等、多岐にわたる役割が関わり協力する中で結果を求められます。チーム医療の中で、医師は常にリーダーとしての自覚・責任を持って取り組み初期臨床研修の中でリーダーとしての素養を身に付けてほしい。医師の技能向上において、知識以上に重要なのは実際の経験です。この 2 年間は、患者さんと接する中で多くの臨床経験を積んで将来の大きな飛躍につながる医師としての基礎を築く 2 年間にしましょう。



プログラム責任者
飯田 惣授

先輩研修医から

message

TMGあさか医療センターは今年移転したばかりの新しい病院です。この病院のいいところはたくさんありすぎて全部載せることは難しいですが、私が一番にあげるとしたら TMGあさか医療センターの研修は自分のペースに合わせて研修ができることです。また、指導医の先生だけでなく他職種の人にも気軽に質問ができ、チーム医療を学ぶことが出来る部分もいいところです。初期研修を 1 年間過ごしましたが、既にたくさんの手技を積極的にやらせてもらえました。回った科でも症例発表などを行うこともでき、自分が経験した症例を学ぶこともできます。

当院は ON と OFF もしっかりしているところもいい点です。少しでも気になった医学生の方は是非病院見学に来てください！



研修医 1 年目
都筑 馨太

女性医師支援コーナー

当院では 20 名の女性医師が活躍しており、女性医師の比率が 27% となっています。当直業務は希望制となっています。当直業務を行う際は、内科・外科・整形外科・脳神経外科の先生について研修が可能です。24 時間利用可能な保育室も完備していますので長期にわたって勤務することが可能となっています。後期研修医になれば子育て支援の観点から、時短勤務が可能です。

現在、初期臨床研修医で女性の医師が 3 名在籍しており、1 名は子育てをしながら研修を行っております。TMGあさか医療センターは、女性初期臨床研修医を大歓迎します。是非、病院見学に来て下さい！！

連絡先 医療法人社団武蔵野会 TMG あさか医療センター

総務課

〒333-0833 朝霞市溝沼 1340-1

TEL ▶ 048-466-2055 (代表) FAX ▶ 048-466-2059

E-mail ▶ asaka_info@tmg.or.jp

URL ▶ http://www.asakadai-hp.jp

アクセス ▶ 武蔵野線 北朝霞駅から徒歩 10 分
東武東上線 朝霞台駅から徒歩 10 分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

● 病院見学 (随時実施中)

見学希望の方は、メールまたは電話で受け付けております。

※希望者は氏名・大学名(学年)・見学科目・希望日を左記メールアドレスまでお送り下さい。